

B-5

出展団体名	愛媛大学・農学部・環境土壌学研究室		
発表者所属	愛媛大学・農学部		
発表者氏名	逸見彰男（へんみてるお）		
発表タイトル			
ねらい	<input type="checkbox"/> ビジネスパートナー探し		
	<input type="checkbox"/> 共同研究パートナー探し		
	<input type="checkbox"/> 共同製品開発のパートナー探し		
	<input type="checkbox"/> 所有技術シーズの顧客（ライセンス）探し		
	<input type="checkbox"/> その他（ ）具体的に		
キーワード	① 人工ゼオライト	② ゼロエミッション新技術	
	③ 環境産業ビジネス技術	④ 循環型社会形成	
要 旨（アピールポイント）			
<p>21世紀は環境の時代です。循環型社会の構築にはゼロエミッションの達成が不可欠です。持続的な発展を可能にするためには、新しいタイプの循環型技術を創造しなければなりません。ここでは、電力産業などの副産物である石炭灰を、多くの役立つ機能を持つ人工ゼオライトに転換することにより、様々な分野で活用できる資源にリサイクルし、有効利用する新しい技術を紹介します。利用できる分野は、環境改善、生物利用工業・バイオテクノロジー、農畜水産、土木・建築、都市環境整備・都市計画、公衆衛生、新素材、医薬品などにわたります。人工ゼオライトを応用することで、除臭・除湿資剤、鮮度保持剤、展着・増量剤、吸着剤、廃油処理剤、土壌改良資材、アスファルト改質剤、抗菌剤、重金属除去剤、ダイオキシン除去剤、水質浄化剤、ノックス分解触媒、廃プラスチック油化触媒など多様の製品を創製し、環境ビジネスを可能とします。本技術によって、石炭灰などの「灰」に代表される無機系の副産物を、有用な働きする人工ゼオライトに変えることで、永遠のリサイクルに組み込むことができます。現代の花咲じいさんは「灰」で環境ビジネスに栄える花を咲かすことができます。</p>			
特記欄			